

# 中津市しもげ商工会BCP（事業継続計画）および参考資料

資料番号	資料名	備考
<b>(1) 中津市しもげ商工会BCP（事業継続計画）</b>		
資料①	役職員携行カード	避難場所・連絡先等を事前に記入
資料②	緊急時連絡先一覧	既に作成済の類似資料で代替可能
資料③	避難ルートマップ	既に作成済の類似資料で代替可能
資料④	災害対策本部メンバーリスト	既に作成済の類似資料で代替可能
資料⑤	災害時業務リスト	既に作成済の類似資料で代替可能
資料⑥	救護用品一覧表	既に作成済の類似資料で代替可能
資料⑦	備蓄品リスト	既に作成済の類似資料で代替可能
資料⑧	立ち入り判断基準	既に作成済の類似資料で代替可能
資料⑨	帰宅判断基準	既に作成済の類似資料で代替可能
資料⑩	感染症対策	既に作成済の類似資料で代替可能

<b>(2) 参考資料 ※災害発生時にそのまま使用／既に作成済の類似資料で代替可能</b>		
参考①	消火設備の使用方法	既に作成済の類似資料で代替可能
参考②	応急処置の方法	既に作成済の類似資料で代替可能
参考③	負傷者情報一覧表	災害時にそのまま使用
参考④	職員安否情報等確認用リスト（帰宅・滞在・勤務可否含む）	災害時にそのまま使用
参考⑤	役員連絡先リスト（安否・事業所状況確認用）	災害時にそのまま使用
参考⑥	事務所被害報告シート	災害時にそのまま使用
参考⑦	被害情報確認シート	災害時にそのまま使用
参考⑧	社外被災者受け入れリスト	災害時にそのまま使用
参考⑨	訓練の種類	
参考⑩	地域のリスクの認識	
参考⑪	オフィスの固定対策要領	
参考⑫	水災における事前対策	
参考⑬	国土交通省出典：大規模水災害に関するタイムラインの流れ	

**【資料①】役員携行カード**

**初期動作のポイント**

自身/家族の安全確保

- 1 自身/家族の安全確保
- 2 避難場所

家族の安否確認

- 3 家族との連絡手段
- 4 商工会への安否報告

- 4 安否報告ルール
- 6 会社への安否報告

商工会からの指示を待つ

- 6 指示があるまで原則待機

2020年度年版

**3 家族との連絡手段**

電話、携帯メールがつかない場合、下記の電話会社サービスも利用する。  
※震度6弱以上の地震等の災害発生時に開設される。

**携帯版災害用伝言板の使い方**

【伝言板登録】  
各携帯会社のウェブ画面(MENU、Ezweb、Yahoo!ケータイなどのトップメニュー)にある「災害用伝言板」を開き、「登録」を選択して伝言を登録。

【伝言板確認】  
同じく各携帯会社のトップメニューから「災害用伝言板」を開き、「確認」を選択して被災地の人の携帯電話番号を入力して伝言を見る。  
**災害用伝言ダイヤルの使い方**

【伝言録音・再生】  
「171」にダイヤル  
録音「1」：市外局番+自宅電話番号  
再生「2」：市外局番+自宅電話番号  
※音声ガイダンスに沿って操作

**1 自身/家族の安全確保①**

- 屋内にいる時**  
1.机やテーブルの下に隠れる  
2.慌てて外に飛び出さない

- 屋外にいる時**  
1.カバン、着衣等で頭を保護する  
2.安全な建物へ避難、街路樹も活用  
ガラス飛散範囲→建物高さの1/2  
3.ブロック塀、門柱等に近寄らない

- 電車・地下鉄に乗りしている時**  
1.吊革等にしっかりつかまる  
2.乗務員に従い冷静に行動(勝手に)ドアを開けたり線路に降りたりしない

- 車に乗っている時**  
1.徐々に速度を落とし左側に車を寄せ停止、エンジンを切る。  
2.揺れがおさまるまで車外に出ない。  
3.車から離れるときは、キーをつけたままにし、ロックはしない。

**1 自身/家族の安全確保②**

- 揺れがおさまったら**  
1.初期消火  
※火が天井に届いていたらあきらめて逃げる  
2.救助活動  
※周囲と協力し、無理のない所から  
3.ドアや窓を開けて避難ルートを確認

- 避難する場合は？**  
※避難前・避難後に人数確認を行う  
※備蓄品を持って避難場所へ

**2 避難場所**

●**陸揚地を基点とした避難場所**

避難場所	
広域避難場所	

●**自宅を基点とした避難場所**

避難場所	
広域避難場所	

※通勤途中の場合は各交通機関、警察、消防署の指示に従い、その地域の避難場所等に一旦避難する。

**(参考)災害伝言板利用方法①**

●**NTTドコモの場合**

- 1.サービスの開始  
震度6弱以上の地震等の災害が発生すると「iMenu」のトップに「災害用伝言板」が追加される。

- 2.メッセージの登録  
【メッセージの登録内容】

「無事です」「被害があります」「自宅に居ます」「避難所に居ます」の4つの中から選択。その他、全角100文字以内のコメントを登録可能。

- 【メッセージ登録可能件数】  
1携帯電話番号で10件

10件を超えるメッセージは古いものから順次上書きされる。

**(参考)災害伝言板利用方法②**

- 3.メッセージの確認  
「災害用伝言板」から安否情報を確認したい人の携帯番号を入力し、メッセージを確認する。

インターネット経由で全国から確認可能。  
【メッセージ保存期間】

登録から最大72時間

●**auの場合**

EZwebのトップメニューから「災害用伝言板」を選択し、同様の操作を実施。

●**softbankの場合**

Yahoo!ケータイのトップメニューから「災害用伝言板」を選択し、同様の操作を実施。

**4 安否報告ルール**

- 安否確認システムで、必ず会社へ自身の安否を報告する。

- 安否確認システムを利用できない場合は、緊急連絡網により安否報告を行う。  
※報告内容  
=「会社への安否報告」参照

- 会社にいる従業員は、避難後に点呼を実施の上、点呼結果をとりまとめて事務局長に報告する。

**5 安否報告内容**

**安否報告内容:**

- ・自己(及び家族)の安否(現在の居場所、負傷の有無/程度)
- ・その他(他の社員の安否情報、周辺の火災発生状況・公共交通機関に関する情報など)

**6 従業員行動指針**

- 商工会からの指示があるまでは、安全な場所で待機し、自らの判断で勝手に動かない。

- 自分自身、及び家族の人命の安全確保を第一として行動する。

**帰宅指示・判断基準**

●**帰宅経路の安全が確認できるまで帰宅しない**

- ・明るうちに自宅到着できる者は、帰宅経路の安全が確認できたら帰宅可とする。(徒歩毎時2.5kmで計算すると10kmは4時間を要する)

- ・明るうちに自宅到着不可の者は本社または避難場所で宿泊させ、翌朝帰宅する。

- ・帰宅者は飲食料等を携行する。

- ・余震が収まってから帰宅する。

- ・同一方向はできるだけ集団帰宅する。

- ・幹線道路を使い帰宅する。

- ・帰宅したら会社に無事帰宅した旨、報告する

**<夜間の行動は避けること！>**

**リスクの概要**

リスクの種類	リスクの有無	被災想定	備考
南海トラフ地震	無		
首都直下型地震	無		
その他地震	有	7.6程度	30年以内の発生確率:2~4%
津波	無	mmの浸水	
洪水	有	5~20mmの浸水	想定河川: 山国川
土砂災害	有	特別警戒区 区域に指定	参考URL:https://www.city-nakatsu.jp
火山噴火	無	関東 cm/噴石有・集	想定活火山: 山

(参考)リスクを調べる際に有用なホームページ  
 ●内閣府ホームページ(南海トラフ・首都直下型地震)  
 ●各都道府県・市町村のホームページで公表されるハザードマップ  
 ●J-SHS地震ハザードステーション(国立研究開発法人防災科学研究所)地震リスク  
 ●車載るハザードマップ(国土交通省):洪水・土砂災害・津波リスク

**(参考)災害用伝言ダイヤルの利用方法**

●**NTT災害用伝言ダイヤル(171) 伝言の登録 再生方法**

- (伝言の登録) 171にダイヤル
- (伝言の再生) 171にダイヤル

プッシュ ガイダンス プッシュ ガイダンス

- 1をダイヤル
- 2をダイヤル

プッシュ ガイダンス プッシュ ガイダンス

電話番号を入力 連絡を取りたい方の電話番号を市外局番から入力

プッシュ ガイダンス プッシュ ガイダンス

メッセージ録音 メッセージ再生

**(参考)地震発生時の被災想定**

被災項目	震度等	5弱	5強	6弱	6強	7以上	津波/洪水
スタッフ	-	無人出社です				相対数出社です	
建物	1991年5月以前建築	欠付けに数日				使用不可	
建物内蔵	上記以外		片付けに数日			使用不可	
電力				使用不能		使用不可	
水				使用不能		使用不可	
ガス	プロパン			使用不能		使用不可	
	都市ガス			使用不能		使用不可	
一話電話	電話交換機を使用し			騒音により発りにくい状態		使用不可	
	上記以外			電力に準じる		使用不可	
携帯電話				騒音により発りにくい状態		使用不可	
備災				電力に準じる	備災	使用不可	
ネットワーク				電力に準じる	備災	使用不可	
交通	鉄道		点検のため数日間停止			使用不可	
	道路					通行制限により一部使用不可	

## 【資料②】緊急時連絡先一覧

### ■ 社会インフラ

項目	名称	担当	連絡先	所在地	URL	備考
電気	九州電力（株）中津営業所		0120-986-501	中津市中央町1丁目2番5号		耶馬溪本所、三光支所、山国支所
//	中津市役所本耶馬溪支所 総務・住民課		0979-52-2211	中津市本耶馬溪町曾木1800番地		本耶馬溪支所
水道	中津市上下水道お客様センター		0979-24-1382	中津市中央町2丁目3番1号（上下水道部庁舎1階）		耶馬溪本所、三光支所、山国支所
ガス	長尾プロパン店		0979-62-2041	中津市山国町守実110-5		山国支所
//	（有）橋本商店		0979-43-2033	中津市三光諫山1120番地		三光支所
電話	NTT西日本		0120-747488	大分市長浜町3-15-7		
//	ソフトバンク		0800-919-0157	東京都港区東新橋1-9-1		三光支所・本耶馬溪支所（お得ライン）
IT/通信	中津市ケーブルネットワーク		0979-22-1111	中津市豊田町14番地3		中津市役所情報管理課
//	大分県商工会連合会		097-534-9507	大分市金池町3-1-64 5F		

### ■ 交通機関、道路

項目	名称	担当	連絡先	所在地	URL	備考
バス	大交北部バス株式会社		0979-22-0071	中津市大字永添2160-1		
//	玖珠観光バス株式会社		0973-72-1131	玖珠郡玖珠町大字帆足2233-2		
タクシー	耶馬溪交通有限会社		0979-54-2024	中津市耶馬溪町大字平田948-2		
道路（国道）	大分河川国道事務所中津維持出張所		0979-22-4855	中津市大字宮夫字無生227-2		
道路（県道）	大分県中津土木事務所		0979-22-2110	中津市中央町1丁目5番16号		
道路（市道）	中津市建設土木課		0979-22-1111	大分県中津市豊田町14番地3		

■ 消防、警察、自治体

項目	名称	担当	連絡先	所在地	URL	備考
消防	中津市消防本部		0979-22-0001	中津市大字上宮永364		
//	中津市消防署耶馬溪分署		0979-54-2100	耶馬溪町大字大島2214-1		
警察	山口警察官駐在所		0979-43-2731	中津市三光田口50-46		
//	洞門警察官駐在所		0979-52-2006	中津市本耶馬溪町樋田277-2		
//	柿坂警察官駐在所		0979-54-2015	中津市耶馬溪町大字柿坂686-3		
//	山国町宇曾警察官駐在所		0979-62-2011	中津市山国町宇曾1232-3		
役所・役場	中津市防災危機管理課		0979-22-1111	中津市豊田町14番地3		

■ 近隣医療機関

項目	名称	診療科	連絡先	所在地	URL	備考
病院	中津市立中津市民病院	内・外他	0979-22-2480	中津市大字下池永173番地		
//	中津市国民健康保険津民診療所	内・外	0979-54-2035	中津市耶馬溪町大字大野950-2		
//	中津市国民保険山移診療所	内	0979-55-2068	中津市耶馬溪町大字山移3813-1		
//	平田診療所	内・外	0979-54-2114	中津市耶馬溪町大字平田1518-1		

■ 近隣宿泊施設

項目	名称	担当	連絡先	所在地	URL	備考
宿泊	耶馬溪サイクリングターミナル		0979-54-2700	中津市耶馬溪町大字柿坂353番地		
//	つきのほたる		0979-55-2259	中津市耶馬溪町大字深耶馬2142-1		
//	鹿鳴館		0979-55-2025	中津市耶馬溪町大字深耶馬3152-4		
//	ほのぼの茶屋		0979-55-2214	中津市耶馬溪町山移3802		

■ 業務関連

項目	名称	担当	連絡先	所在地	URL	備考
全国連	全国商工会連合会		03-6268-0088	東京都有楽町1-7-1		
都道府県連	大分県商工会連合会		097-534-9507	大分市金池町3-1-64		
近隣商工会	宇佐両院商工会		0978-44-0381	宇佐市安心院町下毛2112-1		
併存商工会議所	中津商工会議所		0979-22-2250	中津市殿町1383-1		

■ 金融機関

項目	名称	担当	連絡先	所在地	URL	備考
信用組合	大分県信用組合耶馬溪支店		0979-54-3131	中津市耶馬溪町大字柿坂575-1		
銀行	大分銀行洞門支店		0979-52-2105	中津市本耶馬溪町樋田277-8		
郵便局	柿坂郵便局		0979-54-2042	中津市耶馬溪町大字柿坂486-22		
公庫	日本政策金融公庫別府支店		0977-25-1151	別府市餅ヶ浜町9-1.		

■ 各種連絡先（設備、システム、物流、損害保険など）

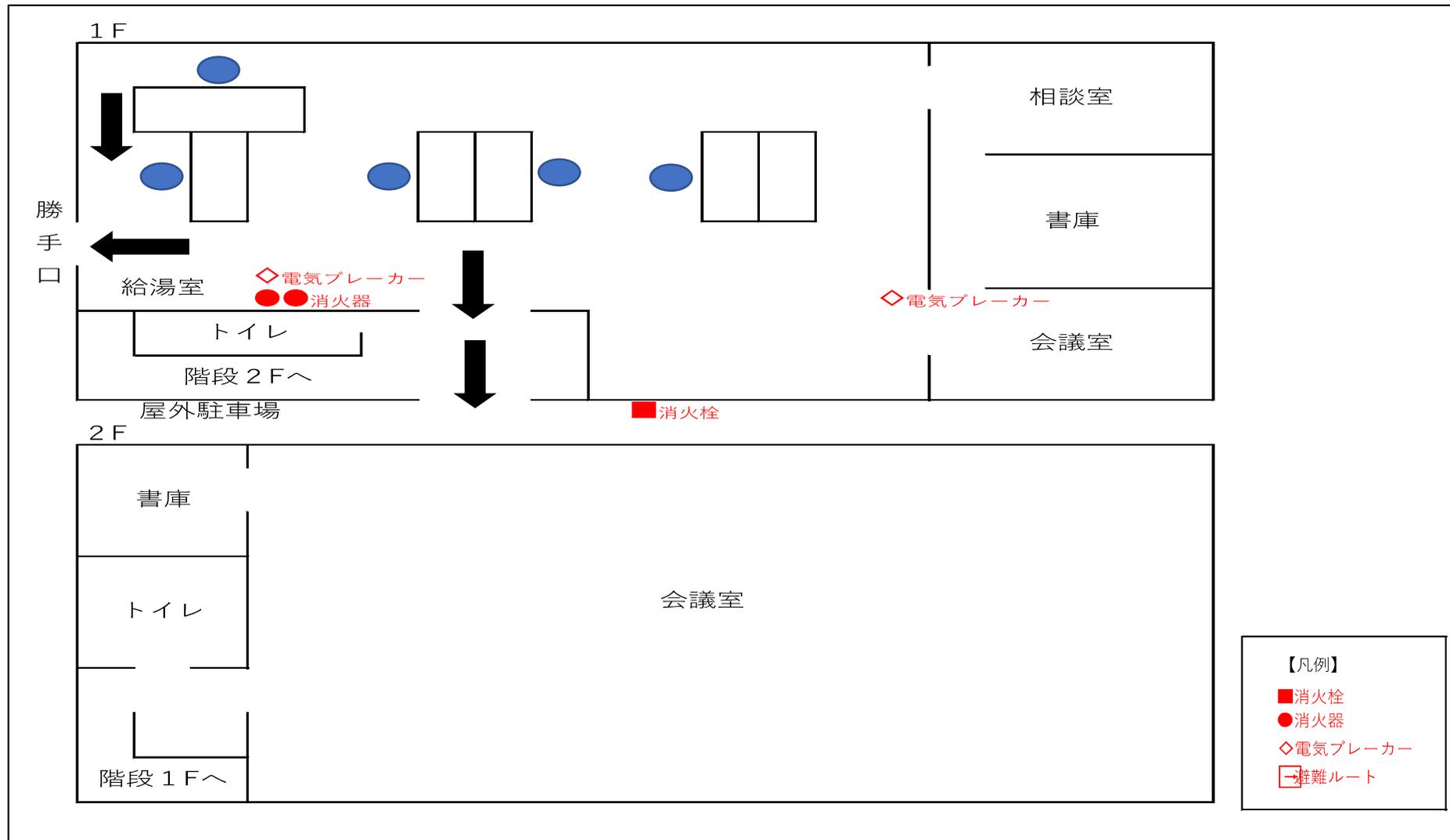
項目	名称	担当	連絡先	所在地	URL	備考
設備	中津市役所（本耶馬溪支所）		0979-52-2211	中津市本耶馬溪町曾木1800番地		
システム	大分県商工会連合会		097-534-9507	大分市金池町3-1-64		
警備	株式会社全日警中津		0979-24-0541	中津市大字永添416-11		耶馬溪本所
損害保険	大分県火災共済協同組合		097-537-7122	大分市金池町3-1-64		

■ 近隣の避難所

項目	連絡先	所在地	備考
避難所：真坂活性化センター		中津市三光佐知228-1	三光支所
避難所：禅海スポーツセンター	0979-52-2211	本耶馬溪町曾木1800	本耶馬溪支所
避難所：耶馬溪公民館（サニーホール）		中津市耶馬溪町大字柿坂520番地	耶馬溪本所
避難所：コアやまくに	0979-62-2140	中津市山国町守実130	山国支所

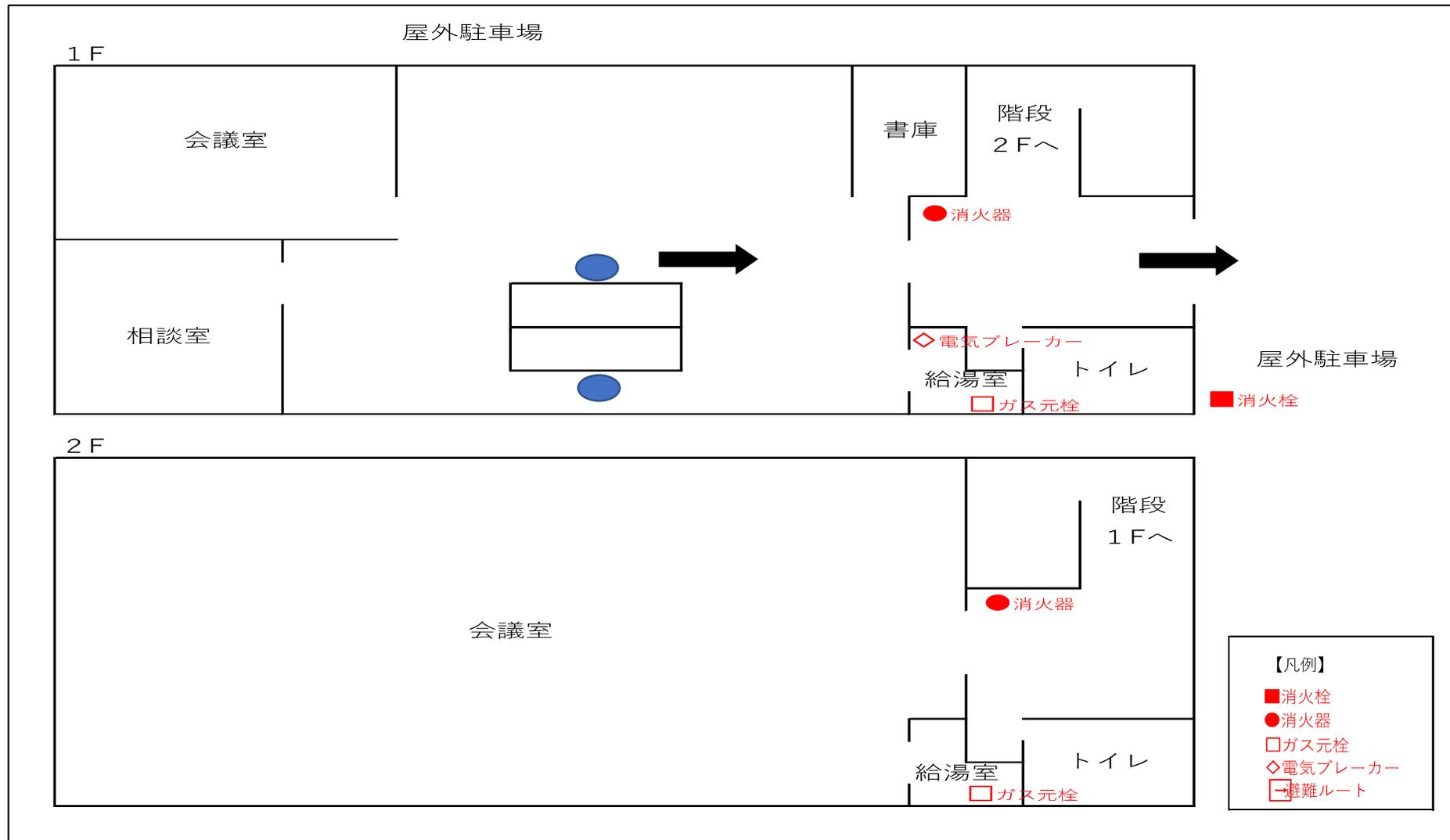
# 【資料③】避難ルートマップ

## 避難ルートマップ【耶馬溪本所】



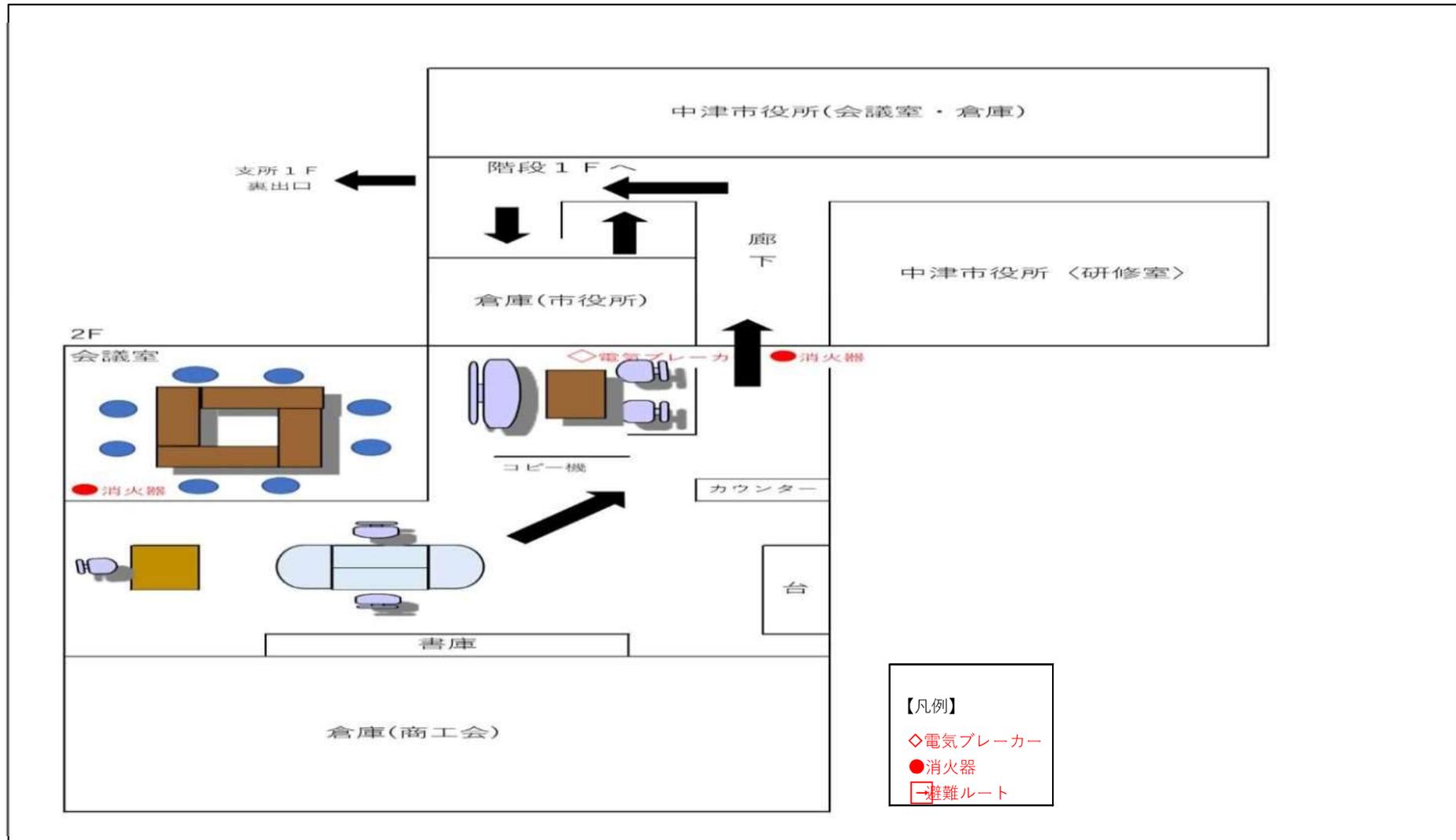
# 【資料③】避難ルートマップ

## 避難ルートマップ【三光支所】



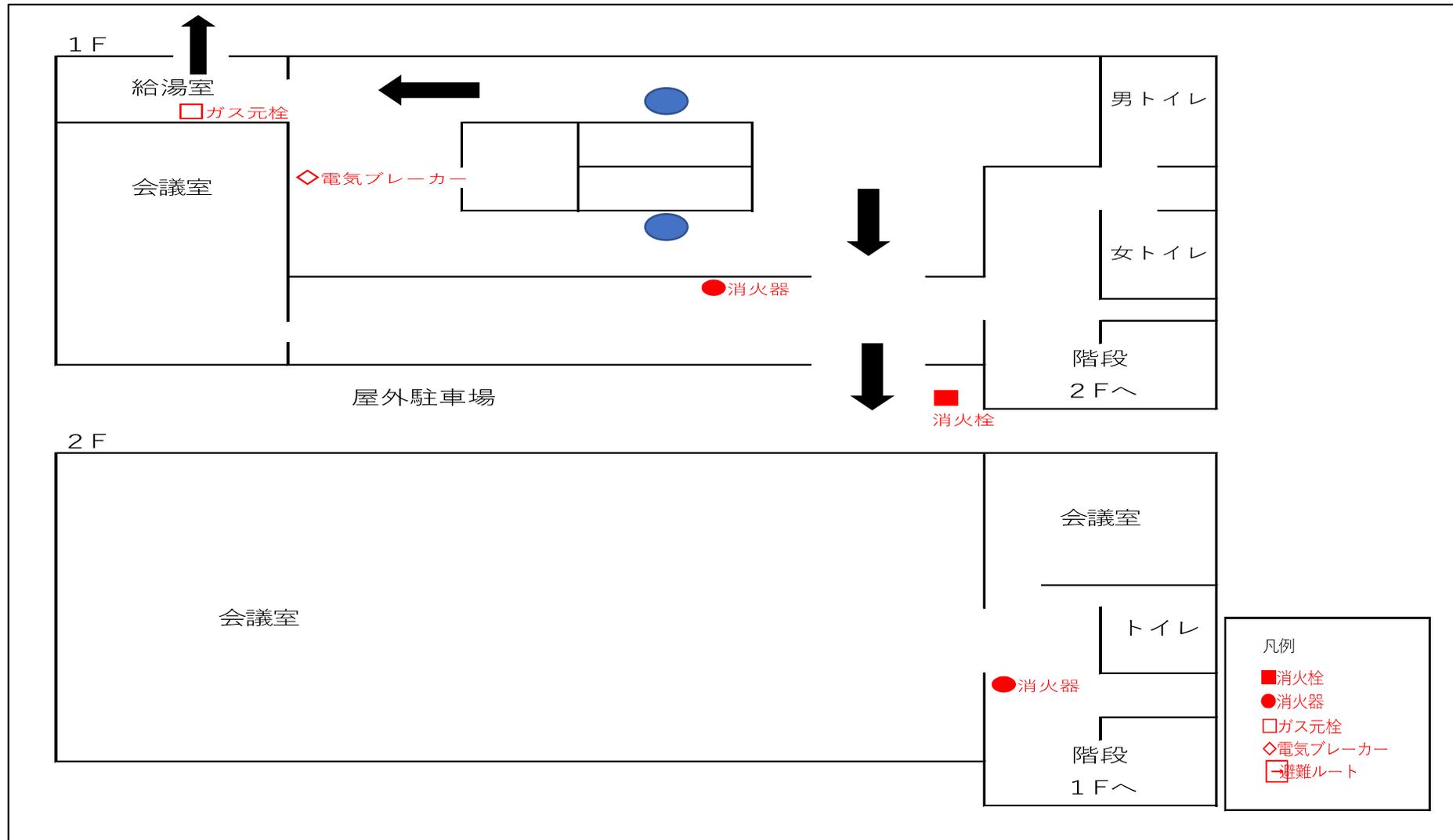
# 【資料③】避難ルートマップ

## 避難ルートマップ【本耶馬溪支所】



# 【資料③】避難ルートマップ

## 避難ルートマップ【山国支所】



## 【資料④】災害対策本部メンバーリスト

災害対策本部長

※ 不在時の災害対策本部長代行者

代行順位1位

代行順位2位

代行順位3位

災害対策本部メンバー

氏名	部署・役職	災害発生時の担当業務
	会 長	三光支所総括
	副会長	本耶馬溪支所総括
	副会長	耶馬溪本所総括
	筆頭理事	山国支所総括
	理 事	三光支所総括補佐
	理 事	耶馬溪本所総括補佐
	理 事	本耶馬溪支所総括補佐
	監 事	山国支所総括補佐
	事務局長	現場責任者
	広域指導課長	指導員責任者
	経営指導員	指導員責任者補佐

## 勤務時間外の至急参集メンバーリスト

氏名	部署・役職	電話番号(自宅・携帯)
	会 長	
	副会長	
	副会長	
	筆頭理事	
	事務局長	
	広域指導課長	
	経営指導員	
	経営指導員	
	経営指導員	

## 【資料⑤】災害時業務リスト

影響度(人命・信用・収益)	業務内容	担当部課	主要担当者	代替担当者
■ 当日	役員(家族)の安否確認(緊急連絡網)	本所(支所)		
	職員(家族)の安否確認(緊急連絡網)	本所(支所)		
	対策本部の設置(対応協議)	本所(支所)		
	地元市町村、近隣商工会、県連との連絡窓口	本所(支所)		
	商工会館・事務所の被害確認	本所(支所)		
■ 当日～2日以内	大まかな被害状況調査・確認の実施	本所(支所)		
	会員事業所からの問合せ対応	本所(支所)		
■ 2日～3日以内	救援活動の支援(72時間以内の救出・救援に協力)	本所(支所)		
	救援活動等・支援物資の応援要請	本所(支所)		
	インフラ等の応急復旧依頼(電気ガス、水道等)	本所(支所)		
■ 4日目～1週間以内	域内の救援、復旧活動を支援	本所(支所)		
	巡回訪問の再開			
	被害状況調査の継続			
■ 1週間～1ヶ月以内	相談窓口の再開	本所(支所)		
	会員安否確認の継続			
	会員被害状況調査の継続			



## 【資料⑦】備蓄品リスト

項目	保管場所 (耶馬溪本所)	保管場所 (三光支所)	保管場所 (本耶馬溪支所)	保管場所 (山國支所)	点検月日	補充月日
<b>緊急避難用(リュックサック)</b>						
非常用水バッグ(5ℓ)	1	1	1	1	令和2年6月1日	
すべり止め手袋	1	1	1	1	令和2年6月1日	
防災用ウエットティッシュ	1	1	1	1	令和2年6月1日	
ゴミ袋45ℓ(10枚)	1	1	1	1	令和2年6月1日	
防寒シート	1	1	1	1	令和2年6月1日	
ホイッスル	1	1	1	1	令和2年6月1日	
ブルーシート2畳用	1	1	1	1	令和2年6月1日	
非常用ローソクセット	1	1	1	1	令和2年6月1日	
ポリラップ15cm×20m	1	1	1	1	令和2年6月1日	
布テープ	1	1	1	1	令和2年6月1日	
カンパン(約100グラム)	1	1	1	1	令和2年6月1日	
保存水(約500ml)	1	1	1	1	令和2年6月1日	
ガーゼ(3枚入)	1	1	1	1	令和2年6月1日	
包帯	1	1	1	1	令和2年6月1日	
カット綿(3枚入)	1	1	1	1	令和2年6月1日	
救急箱絆創膏(3サイズ×2枚)	1	1	1	1	令和2年6月1日	
サージカルテープ	1	1	1	1	令和2年6月1日	
洗浄綿(2枚入×3包)	1	1	1	1	令和2年6月1日	
ハサミ	1	1	1	1	令和2年6月1日	
ピンセット	1	1	1	1	令和2年6月1日	
耳かき	1	1	1	1	令和2年6月1日	
毛抜き	1	1	1	1	令和2年6月1日	
ラジオライト	1	1	1	1	令和2年6月1日	
三角巾	1	1	1	1	令和2年6月1日	
マスク(50枚)	1	1	1	1	令和2年6月1日	
カイロ	1	1	1	1	令和2年6月1日	
スリッパ	1	1	1	1	令和2年6月1日	
緊急簡易トイレ	1	1	1	1	令和2年6月1日	
宿泊セット用ポーチ	1	1	1	1	令和2年6月1日	
ラジオ用単4マンガン電池×3	1	1	1	1	令和2年6月1日	
<b>食料品の備蓄 ※人数×3日分</b>						
非常食(3食×3日分×職員数)	5	2	2	2	令和2年6月1日	
飲料水(3リットル×3日分×職員数)	5	2	2	2	令和2年6月1日	
<b>防災・復旧用品</b>						
懐中電灯、予備電池	1	1	9(13)	1	令和2年6月1日	
コードリール	1	1	2	1	令和2年6月1日	
ブルーシート	4	2	4	1	令和2年6月1日	
粘着テープ	5	3	10	5	令和2年6月1日	
スコップ	7	1	1	1	令和2年6月1日	
レインコート	1	1	20	1	令和2年6月1日	
<b>保護・救援用品</b>						
救護用品 ※資料⑥に記載	1	1	1	1	令和2年6月1日	
<b>生活用品、その他</b>						
缶きり、十徳ナイフ	1	4	1	1	令和2年6月1日	
カセットコンロ・予備燃料	1	1	1	1	令和2年6月1日	
鍋・やかん	2	3	1	1	令和2年6月1日	
紙皿、紙コップ、スプーン、はし	50以上	50以上	50以上	50以上	令和2年6月1日	
トイレットペーパー、ウェットティッシュ	50	10	36個・0	10	令和2年6月1日	
蓋つきポリバケツ	2	1	1	1	令和2年6月1日	
ポリタンク	1	6	3	1	令和2年6月1日	
ゴミ袋、ビニール袋	50以上	50以上	50以上	50以上	令和2年6月1日	
ライター、チャッカマン	3	1	1	1	令和2年6月1日	
紙、鉛筆、油性ペン	30	30	10以上	10以上	令和2年6月1日	
カメラ、予備電池(記録用)	1	1(携帯で対応)	1	1(携帯で対応)	令和2年6月1日	
ラジオ(手回式充電式)	1	1	1	1	令和2年6月1日	

## 【資料⑧】立ち入り判断基準

<判断基準> 原則、建物の外観を目視で確認し、以下事象が見られた場合は立ち入り不可とする

### ■立ち入り不可のケース

No.	確認事項	チェック結果
1	店舗周辺で地滑り、がけ崩れ、地割れ、噴砂、液状化が見られるか？	
2	建物の沈下又は建物周辺の地盤が沈下しているか？	
3	建物が傾斜していないか？	
4	床が損傷しているか？	
5	柱が損傷しているか？	
6	壁が損傷しているか？	
7	火災は発生しているか？	
8	危険物・ガスが漏洩しているか？	

# 【資料⑨】 帰宅判断基準

＜判断基準＞ 原則、下表のチェック結果をもとに危険がないと考えられる場合に帰宅を認める

## ■収集すべき情報

- 行政の指針
- 警報の発生状況
- 自宅までの経路の状況（道路や橋梁の通行可否、火災発生エリア、建物崩壊エリア等）
- 自宅までの距離
- 日没までの時間
- 天候

## ■徒歩で帰宅する場合

No.	確認事項	チェック結果
1	<b>＜帰宅先までの距離＞</b> <input type="checkbox"/> 帰宅先までの距離が20km以内か。（2.5km/時で歩行時間約8時間）	
2	<b>＜日没時刻＞</b> <input type="checkbox"/> 日没までに帰宅できるか。 （参考）震災時の徒歩帰宅の場合の速度の目安は約2.5km/時。	
3	<b>＜気候＞</b> <input type="checkbox"/> 数時間先の気候（天気・気温）について、警報等は出ていないか。	
4	<b>＜帰路の状況＞</b> <input type="checkbox"/> 帰路に大規模な火災が発生していないか。 <input type="checkbox"/> 帰路の道路状況（通行禁止区域、落橋、混雑等）の情報はどうか。 <input type="checkbox"/> 帰路の治安悪化に関する情報はないか。	
5	<b>＜帰宅時の装備＞</b> <input type="checkbox"/> ヘルメット（あるとベター） <input type="checkbox"/> 携帯電話等の通信機器 <input type="checkbox"/> 小銭、テレホンカード（公衆電話用） <input type="checkbox"/> 歩きやすい靴 <input type="checkbox"/> 地図 <input type="checkbox"/> その他（水、食糧等）	
6		
7		
8		

## ■車で帰宅する場合

No.	確認事項	チェック結果
1	<b>＜帰路の状況＞</b> <input type="checkbox"/> 帰路に大規模な火災が発生していないか。 <input type="checkbox"/> 帰路の道路状況（通行禁止区域、落橋、混雑等）の情報はどうか。	
2	<b>＜停電＞</b> <input type="checkbox"/> 停電していないか。	
3	<b>＜帰宅時の装備＞</b> <input type="checkbox"/> 車に燃料は十分にあるか。 <input type="checkbox"/> 携帯電話等の通信機器 <input type="checkbox"/> 小銭、テレホンカード（公衆電話用） <input type="checkbox"/> 地図 <input type="checkbox"/> その他（水、食糧等）	
4		
5		

# 【資料⑩】 感染症対策

## 1. 感染症の拡大防止策

手洗いの徹底 マスクの着用	<input type="checkbox"/> 利用者・職員にマスク着用の徹底を周知し、着用していない場合は配布等に努めている。 <input type="checkbox"/> 消毒備品等を各所に設置し、利用者・職員に手洗いや手指消毒の徹底を周知している。 <input type="checkbox"/> 共用タオル等を使用しない、衣類をこまめに洗濯するなど、衛生管理を徹底している。
ソーシャル ディスタンス	<input type="checkbox"/> 行列整理や床の目印表示等により、混雑を回避している。 <input type="checkbox"/> 座席の工夫など従業員も含めて対人間隔を確保し、大声で会話しないよう周知している。 <input type="checkbox"/> 対面が想定される場所への遮蔽物の設置等で接触機会を低減している。
3密※を 避けた行動 <small>※密閉、密集、密接</small>	<input type="checkbox"/> 3密が予想される場合、入場者数・滞在時間の制限等を行っている。 <input type="checkbox"/> 扉や窓を開け、扇風機を外部に向けて使用するなど、定期的な換気を行っている。 <input type="checkbox"/> 職員の休憩室等はできる限り換気を行い、対面で食事・会話をしないようにしている。
施設の 清掃・消毒	<input type="checkbox"/> 複数の人が触れる場所や物品を極力減らし、難しい場合はこまめに清掃・消毒している。 <input type="checkbox"/> 使用済みマスク等は、ビニール袋に入れて縛るなど密閉して捨てるよう表示している。 <input type="checkbox"/> 清掃・消毒・ごみ回収は手袋・マスクを着用し、事後に手洗い・手指消毒を徹底している。
利用者・職員の 体調管理	<input type="checkbox"/> 利用者で熱がある者は入場をご遠慮いただくようお願いするなどの取組を行っている。 <input type="checkbox"/> 職員に出勤前に検温や体調確認をさせ、毎日報告させている。 <input type="checkbox"/> 体調不良の職員に休養を促し、勤務中に体調不良になった者はただちに帰宅させている。 <input type="checkbox"/> 所轄の保健所の確認や来場者の把握など、感染者等の発生に備えた取組を行っている。

### 【留意点】

新型インフルエンザや新型コロナウイルス感染症等については、平時より拡大防止を図ることが重要であり、事業を実施していくためには、商工会館・事業所等での感染防止対策の徹底を図る必要がある。適宜各自治体が定めるガイドライン等も参考にしつつ、上記のような基本動作については予め徹底しておく。

## 2. 感染症発生時の対応

時間	優先業務とすべき事項	職員の対応	
<b>発生前 (海外発生フェーズ)</b> ↓	<ul style="list-style-type: none"> <li>社内における感染防止策の周知徹底</li> <li>感染流行国への出張禁止</li> <li>安否確認システムによる連絡先の整備・確認および職員の家族に要介護者がいるか等の属性情報の整理</li> <li>危機対策本部の設置準備</li> <li>必要備品（マスク・消毒薬等）の調達</li> <li>優先業務のランク付け</li> <li>在宅勤務可能業務の選定</li> <li>人手不足に備えた業務体制の構築（ジョブローテーション等）</li> </ul>	<b>《勤務中》</b> ■マスク着用、手洗いの励行等感染予防対策  ■安否確認システムの確認への返信	<b>《勤務外（通勤中含む）》</b> ■マスク着用、手洗いの励行等感染予防対策  ■安否確認システムの確認への返信  ■子供・要介護者等、感染が拡大した際の対応の検討
		<b>《勤務中》</b> ■感染防止対策の徹底  ■公共交通機関を利用しない方法の検討・時差出勤の検討  ■安否確認システムへ必ず返信及び家族に留意事項がある場合の報告  ※感染拡大防止を第一に考え、体調に不安がある場合は無理せず自宅待機とする。	<b>《勤務外（通勤中含む）》</b> ■感染防止策の徹底  ■公共交通機関をなるべく避ける  ■安否確認システムへ必ず返信及び家族に留意事項がある場合の報告  ■不要不急の外出を避ける  ※感染拡大防止を第一に考え、体調に不安がある場合は無理せず自宅待機とする。
<b>発生 ↓ 当日</b> ↓	<ul style="list-style-type: none"> <li>安否確認システムの発動（役職員の出社体制を指示・確認）</li> <li>通勤手段の確保（徒歩・自転車・自家用車を使用可能な場合優先する）</li> <li>危機対策本部の設置（正副会長や役員と連絡をとり、事務局長や経営指導員責任者は参集）</li> <li>削減候補業務を段階的に縮小、テレワークの指示</li> <li>レイアウトの変更、時差出勤の指示</li> </ul>	<b>《勤務中》</b> ■感染防止対策の徹底  ■公共交通機関を利用しない方法の検討・時差出勤の検討  ■安否確認システムへ必ず返信及び家族に留意事項がある場合の報告  ※感染拡大防止を第一に考え、体調に不安がある場合は無理せず自宅待機とする。	<b>《勤務外（通勤中含む）》</b> ■感染防止策の徹底  ■公共交通機関をなるべく避ける  ■安否確認システムへ必ず返信及び家族に留意事項がある場合の報告  ■不要不急の外出を避ける  ※感染拡大防止を第一に考え、体調に不安がある場合は無理せず自宅待機とする。
		<b>《勤務中》</b> ■感染防止対策の徹底  ■公共交通機関を利用しない方法の検討・時差出勤の検討  ■安否確認システムへ必ず返信及び家族に留意事項がある場合の報告  ※感染拡大防止を第一に考え、体調に不安がある場合は無理せず自宅待機とする。	<b>《勤務外（通勤中含む）》</b> ■感染防止策の徹底  ■公共交通機関をなるべく避ける  ■安否確認システムへ必ず返信及び家族に留意事項がある場合の報告  ■不要不急の外出を避ける  ※感染拡大防止を第一に考え、体調に不安がある場合は無理せず自宅待機とする。

## 【参考①】 消火設備の使用方法

(1) 大きな声で周囲の人に火災を知らせ、消火器を火災場所まで運ぶ。

(2) 消火器の安全栓を抜く。



(3) ホースをはずし火元に向ける。

この事業所の消火器は、『○○○』にあります。



(4) レバーを強く握る。



(5) 放射する。



<参考：横浜市消防局資料から抜粋>

### 【注意】

天井に炎が到達または天井に燃え移った時点で、消火器による消火活動はできないと判断する。  
その場合、速やかに初期消火を中止し避難をはじめると。

第2章

おぼえておこう! 応急手当

身につけよう!

大きな災害が発生して、けがをしてしまった場合、または自分は無事でも家族やまわりの人がけがをしている場合、どうすればよいのでしょうか。災害時は、ふだんのように救急車がかけつけられないことも考えられます。こうした場合にそなえて、少しでも役立つ応急手当の知識を身につけておきましょう。

ケガの  
応急手当

やってみよう!

1. 切りキズなどによる出血

キズの手当ては、1.出血を止める(止血)、2.細菌の侵入を防ぐ、3.痛みをやわらげる、という3つのことを意識しながら行う。



応急手当

- 1.出血しているところを完全におおえる大きさの清潔なガーゼや布でやや強く押さえ、止血する。
- 2.患部を清潔に保ち、包帯などを巻く。
- 3.じかに血液にふれないようにビニール・ゴム手袋を利用する(スニーパーの袋などでもよい)。

応急手当

- 1.流水で患部を冷やすのがいちばんよいが、水が出ないときは、水でぬらした清潔なガーゼやタオルをひんぱんにかえて冷やす。
- 2.水ぶくれは破らないようにする。
- 3.消毒ガーゼがきれいな布を当て、包帯をする。



2. やけど

- ※キズ、やけどの場合、やたらに医薬品を使うのはやめよう。
- ※キズ口に直接、わたやチリ紙を当てないようにしよう。
- ※キズややけどがひどい場合は、病院でみてもらおう。

3. 骨折

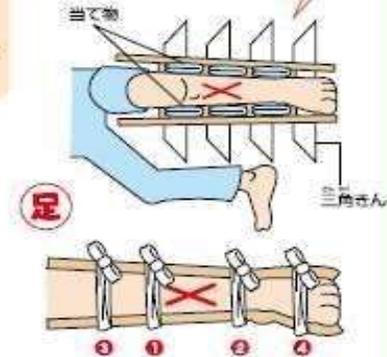
★骨折のみかた

- 激しい痛み ●はれたり変形している
- 冷や汗がでたり、寒気がする ●さわってみると骨がずれている
- キズ口から骨のはしが出ている

応急手当

- 1.出血している場合は、その手当てをする。
- 2.梶子を当て、痛くない位置で固定する。梶子は骨折部分の上下の関節より長くする。
- 3.骨が突き出しているときは、その上に清潔なガーゼか布を当て、シーツなどでくるむ。

固定のみかた

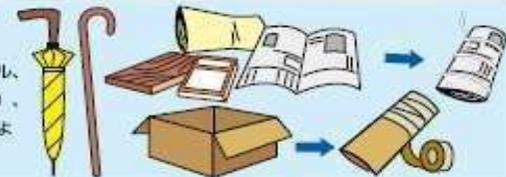


- 1.骨折しているところに梶子を当て、その上下を固定する。
- 2.三角せんですつたあと、さらに腕部に固定する。

- 1.骨折しているところの両側から、梶子を当てる。
- 2.関節が動かないよう、1~4の順番に固定する。

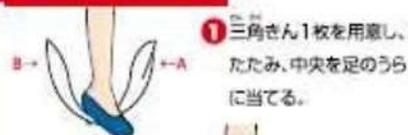
★梶子とは?

棒や板、かさ、ステッキ、段ボール、新聞紙・雑誌(かたく折り曲げる)、毛布などで、骨折部分を動かさないように固定できるもの。



- ※骨折したところはしっかり固定して動かさないようにする。
- ※骨がとび出している場合でも、元に戻さない。また、キズ口は洗わないこと。
- ※固定が強すぎると血の流れが悪くなり、危険な場合もあるので注意する。その観察のためにも、指先や足先が見えるようにしておく。

## 4. ねんざ

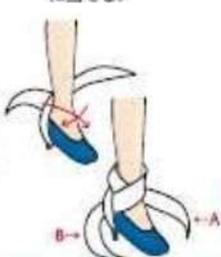


① 三角せん1枚を用意し、たたみ、中央を足のうらに当てる。



② 三角せんの両はしを足首のうしろに引き上げて交差させる。

③ 三角せんの両はしを足の甲の方に回し、足首で交差させ、両はしをかかととなめぬにまいた三角せんの内側に通す。



④ 三角せんの両はしを足首の前で結ぶ。

### 応急手当

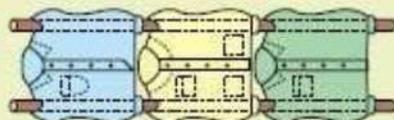
1. 患部は冷やす。
2. くつはそえ木のかわりになるので、ぬがなくてその上から三角せんや布などで固定する。

## 知っていると便利! ★応急担架のつくり方

動けない人を運ぶときは、衣類や毛布を使って、応急担架をつくれます。

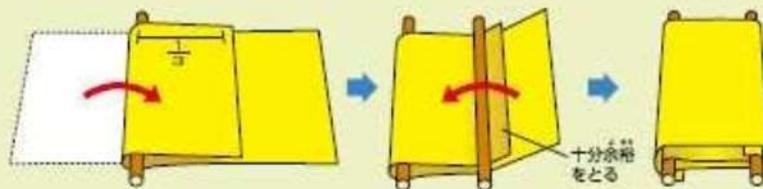
### 1 上着を活用

図のように2本の棒に上着を通します。



### 2 毛布を活用

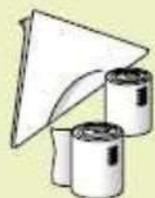
毛布の1/3のところを棒に置いて、毛布をおり返してつくります。



## 救急箱の中身

- ※ 救急箱はいつも同じ場所に置こう。
- ※ 薬やガーゼは使ったらすぐに補充しよう。
- ※ 年1回は点検をして、古くなった薬やガーゼはすてよう。
- ※ 救急箱の中身は必要最低限のものだけにしよう。

### ★救急箱の中身の例



三角せん  
包帯(4号・6号が便利)



消毒ガーゼ  
きれいなタオル



ばんそうこう(大・小)



体温計



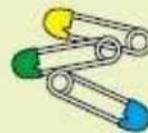
はさみ・ピンセット



キズ口用の消毒液



常備薬  
(かぜ薬、胃腸薬、痛みどめなど)



安全ピン

### 読みのもの

#### 病院がいっぱいになってしまうと...

災害が発生して多くのけが人ができると、みんな病院でみてもらおうと考えます。しかし、病院やお医者さんも被害を受け、満足な手当ができないことも考えられます。ただでさえけが人がいっぱい、しかも施設が使えない。そのとき問題になるのが、本当に手当を必要としている人と、そうでない人の区別です。災害時に、けがの程度に応じて患者を区分していくことを「トリアージ」といいます。トリアージはフランス語で、もともとはコーヒー豆を選別するときに使われた語だと言われており、現場ではトリアージ・タグという色のついたラベル(黒、赤、黄、緑)を使って患者の区分をします。わたしたちも本の知識ばかりでなく、講習会などで体験することによって、応急手当や救出救護の知識を身につけ、いざというときに役立てたいものです。



トリアージ・タグ

# どうする?!

## 人がたおれていたら

### ① 意識があるか調べる

#### 意識を確認する方法

- ★よびかけて返事をするか。★話はできるか。
- ★手足を動かしているか。★痛みに対して反応はあるか。

### ② 協力してくれる人を求める

★意識の障害があった場合は、すぐその場で救急車をよんでもらったり、大声でまわりの人をよびます。

### ③ 5つの観察と応急手当

#### 1. 周囲の安全の確認

たおれている場所が安全かどうかを確認し、危険な場所ならば安全な場所に移動する。

#### 3. 救急車をよぶ

まず、意識の有無を確認し意識がなければ近くの人に協力を求め、救急車をよぶ。

#### 4. 気道の確保

意識がないときは呼吸がしやすいよう空気の通り道を確保する。

#### 5. 呼吸の確認

呼吸が止まっていたら、すぐに人工呼吸を行う。

#### 2. 出血の確認

大出血があったらすぐ止血する。

- ※救急車のよびかたは、P8-9をみてください。
- ※口の中になにかつまっていたら取りのぞき、血液や唾液はひきとる。
- ※よびかけても反応がないときは、わやみにおこしたり、ゆすったりしない。
- ※気道を確保するときは、顔をムリに後ろにそらせないようにしよう。
- ※正しい方法を身につけるために、応急手当の講習会を受けよう。

### 人工呼吸

① 救急と大声し声で、鼻をつまみ鼻の孔をふさぎます。



② 大きく口をあけて鼻の間に1回2秒かけて息を吹き込みます。



③ 気管の深く息が入れば、もう一回息を吹き込みます。



### 胸骨圧迫

① 胸の真ん中に手を重ね、胸骨に体重をかけ、胸骨が4cm~5cm下方に圧迫されるように1分間100回/分以上で30回以上繰り返します。(30回/分が0.1)



② 30回圧迫後、人工呼吸を2回行います。この操作を一定間隔で繰り返します。



### AEDが到着したら

① 電源を入れる



② 電極パッドを胸に貼る  
体が汗や水で濡れていたらタオルで拭きます。



③ 電圧ショックの必要性をAEDが判断した場合は、胸に電極パッドを貼ったままに胸を叩かないようにします。



④ ショックボタンを押す  
誰も電極板に触れていないことを確認したら、目覚めているショックボタンを押します。



⑤ 以降は、AEDの音声メッセージに従います。

※心臓発作(人工呼吸・胸骨圧迫)とAEDの手順は、緊急隊に到着するか、自ら心肺停止や目的のある仕事(例えば、寝るなどの作業)が中断したり、意識がよくなるまで続けます。

### ★夏は暑さによる脱水症状に注意

夏場、注意しなければならないのは、暑さによる脱水症状です。暑いと人間は汗をかきますが、このとき水分や塩分は体の外へ出てしまいます。すると、血液が流れにくくなってしまい、その分血液を送り出すために心臓に負担がかかります。脱水症状をおこすと、頭痛、ほてり、めまい、体温上昇、だるさなどの症状があらわれ、意識がなくなり危険な状態になることもあります。ムリをして長い時間炎天下で運動をしないことがいちばんですが、次のことに注意しましょう。

#### 予防法

- ★外ではぼうしをかぶり、長い時間炎天下で過ごさない。
- ★ごまめに水分をとる。スポーツドリンクは糖分や塩分、ミネラルも同時に補給できます。
- ★寝不足やつがついているときにムリをしない。

#### 応急手当

- ★休息 楽な状態に安静をさせ、衣服をゆるめたりぬがせたりして、体を冷やす。
- ★冷却 エアコンの入っているところ、風通しの良い日かげなどすずしいところで休ませる。
- ★水分補給 水が飲めるようであれば、少しずつ水を飲ませる。
- ※はき気がある、意識がはっきりしないなど、危険な状態であれば救急車をよぼう。

【参考③】負傷者情報一覧表

月 日 時 分 (24時制) 時点

№	受付日時	所属	負傷者氏名	救護所受付者	負傷箇所	症状	処置	ステータス			備考
								症状	病院への搬送状況	家族への連絡状況	
1								軽・重・死	不要・未・済( /、 : )	不要・未・済( /、 : )	
2								軽・重・死	不要・未・済( /、 : )	不要・未・済( /、 : )	
3								軽・重・死	不要・未・済( /、 : )	不要・未・済( /、 : )	
4								軽・重・死	不要・未・済( /、 : )	不要・未・済( /、 : )	
5								軽・重・死	不要・未・済( /、 : )	不要・未・済( /、 : )	
6								軽・重・死	不要・未・済( /、 : )	不要・未・済( /、 : )	
7								軽・重・死	不要・未・済( /、 : )	不要・未・済( /、 : )	
8								軽・重・死	不要・未・済( /、 : )	不要・未・済( /、 : )	
9								軽・重・死	不要・未・済( /、 : )	不要・未・済( /、 : )	
10								軽・重・死	不要・未・済( /、 : )	不要・未・済( /、 : )	



## 【参考⑤】役員連絡先リスト【安否・事業所状況確認用】

- ※ 役員のア否、事業所の状況を確認するリストです。
- ※ 改選や役職の変更の都度本リストを更新し、緊急時に対応できるようにしてください。

安否	商工会役職	氏名	住所	電話番号	事業所・家族の状況
	会 長				
	副会長				
	〃				
	筆頭理事				
	理 事				
	〃				
	〃				
	〃				
	〃				
	〃				
	〃				
	〃				
	〃				
	〃				
	〃				
	〃				
	〃				
	〃				
	〃				
	〃				
	〃				
	〃				
	〃				
	〃				
	〃				
	青年部長				
	女性部長				
	監 事				
	〃				

## 【参考⑥】事務所被害報告シート

確認場所		確認日時	
確認者			

確認項目	確認内容	確認結果	備考
火災	火災発生の有無		
執務室内	床	陥没	
	壁・扉	亀裂、破損	
	天井パネル	亀裂、落下	
	PC端末	破損、落下、転倒	
	その他		
廊下	床	陥没	
	壁	亀裂、破損	
	天井パネル	亀裂、落下	
給湯室	ガス	漏れ、ガス臭	
	水道	漏水、水が出るか	
	その他	棚、食器の破損	
トイレ	水道	漏水、水が出るか	
	便器など	破損	
	窓・鏡	ガラス割れ	
建物全体	建物躯体	倒壊の恐れ	
	電力	停電	
	エレベーター	停止・閉じ込め	
	空調	停止	
その他			





## 【参考⑨】訓練の種類

訓練名称	概要	実施目安	実施予定日	実施日
避難訓練	実際に定められた避難経路に沿って避難行動を実施する。 ※ 留意点1 津波想定区域については、津波避難訓練も併せて実施する。 ※ 留意点2 大規模水害の場合は、垂直避難(2階避難、階上避難)と水平避難(避難所避難、高台避難等)の2種類の避難が想定されることに留意する。	年1~2回	( )月( )日 ( )月( )日	( )月( )日 ( )月( )日
消火訓練	事務所内にある消火器の扱い方や消火方法等について訓練を実施する。	年1回	( )月( )日	( )月( )日
水防訓練	大規模水害に備えた止水版・土嚢設置等の訓練を実施する。	年1回	( )月( )日	( )月( )日
応急救護訓練	応急手当の方法等について訓練を実施する。	年1回	( )月( )日	( )月( )日
救助訓練	下敷きになった人の救助方法や搬送方法等について訓練を実施する。	年1回	( )月( )日	( )月( )日
安否確認訓練	導入している安否確認システムの扱い方について訓練を実施する。	年1~2回	( )月( )日	( )月( )日
帰宅訓練(徒歩)	交通機関が遮断していることを想定し、徒歩での帰宅を実施する。	年1回	( )月( )日 ( )月( )日	( )月( )日 ( )月( )日
災害対策本部設置訓練	災害対策本部のレイアウト等を確認し、スムーズに本部が設置できるか訓練を実施する。	年1回	( )月( )日	( )月( )日
災害対策本部参集訓練	災害対策本部メンバーの参集ルールに従い、参集できるかどうか訓練を実施する。	年1回	( )月( )日	( )月( )日
通信機器操作訓練	導入している通信機器(衛星電話、IP無線等)の作動状況、操作方法等を確認する。	年1回	( )月( )日	( )月( )日
バックアップデータに関する訓練	バックアップしているデータや書類が利用できるか、バックアップ場所から取り出す訓練を実施する。	年1回	( )月( )日	( )月( )日
図上シミュレーション訓練	ある災害シナリオを想定し、決められたルールに従って災害対応ができるか、シミュレーションにて訓練を実施する。	年1回	( )月( )日	( )月( )日

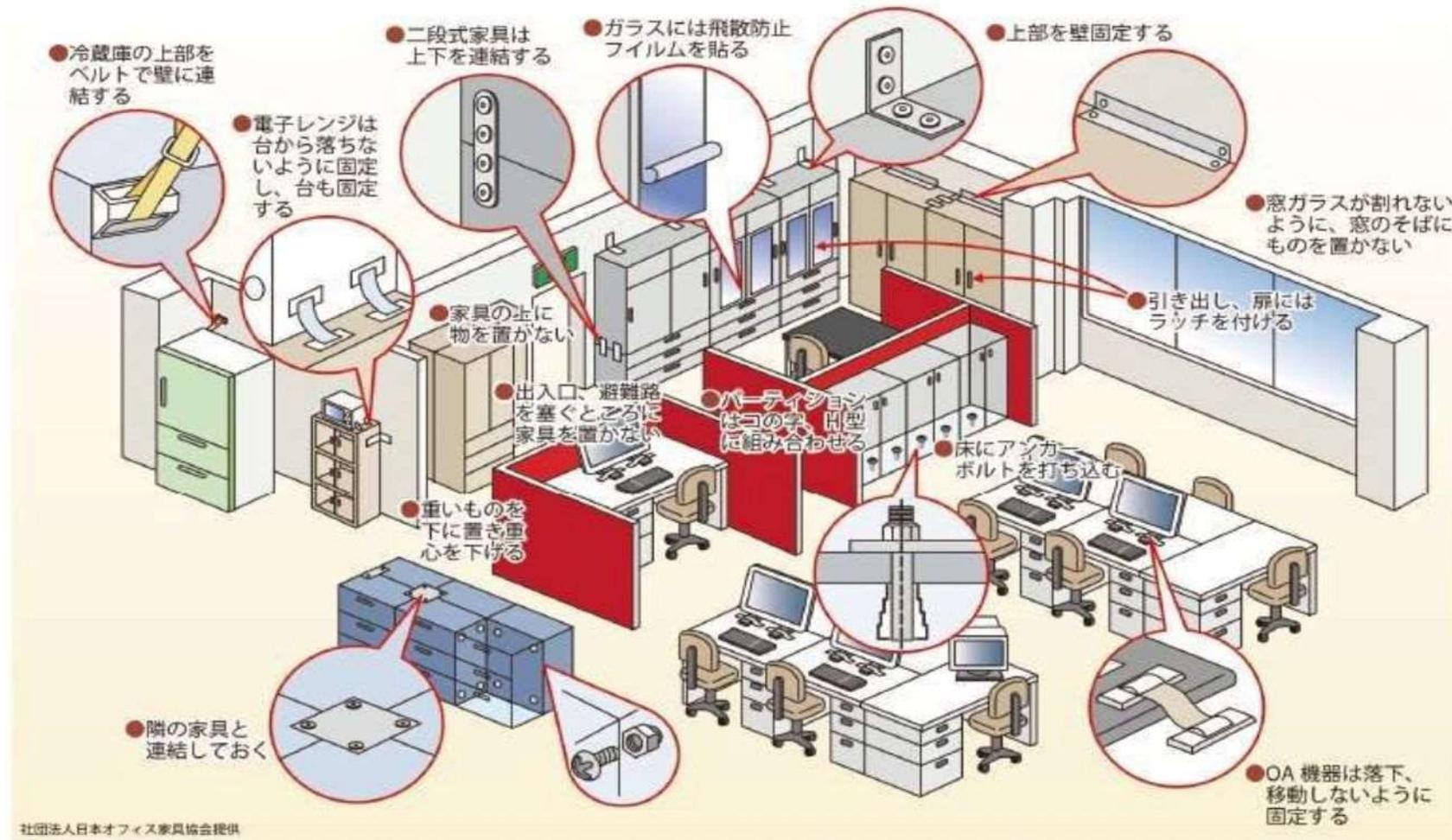
## 【参考⑩】地域のリスクの認識

下記URLのほか、国及び各市町村等が発表しているハザードマップ等を参考に、事前に自所を取り巻くリスクを認識しておきましょう

災害	調査項目	発行元	コンテンツ	URL	備考
地震	主要地震を調べる (規模・発生確率)	地震本部 (政府地震調査 研究推進本部)	長期評価	<a href="http://www.iishin.go.jp/evaluation/long_term_evaluation/ltsummary/">http://www.iishin.go.jp/evaluation/long_term_evaluation/ltsummary/</a>	
		防災科学技術 研究所	J-SHIS 地震ハザードステーション	<a href="http://www.j-shis.bosai.go.jp/map/">http://www.j-shis.bosai.go.jp/map/</a>	アプリあり 住所情報の活用
	震度分布を調べる (海溝型地震)	国土交通省	わがまちハザードマップ	<a href="https://disaportal.gsi.go.jp/hazardmap/">https://disaportal.gsi.go.jp/hazardmap/</a>	
	震度分布を調べる (活断層型地震)	同上	同上	同上	
		防災科学技術 研究所	J-SHIS 地震ハザードステーション	<a href="http://www.j-shis.bosai.go.jp/map/">http://www.j-shis.bosai.go.jp/map/</a>	アプリあり 住所情報の活用
	津波浸水深を調べる	国土交通省	重ねるハザードマップ	<a href="https://disaportal.gsi.go.jp/maps/?ll=38.479395,135.703125&amp;z=3&amp;base=pale&amp;vs=c1j0I0u0">https://disaportal.gsi.go.jp/maps/?ll=38.479395,135.703125&amp;z=3&amp;base=pale&amp;vs=c1j0I0u0</a>	住所情報の活用
		同上	わがまちハザードマップ	<a href="https://disaportal.gsi.go.jp/hazardmap/">https://disaportal.gsi.go.jp/hazardmap/</a>	
国土地理院		2万5千分の1 浸水範囲概況図	<a href="http://www.gsi.go.jp/kikaku/kikaku40014.html">http://www.gsi.go.jp/kikaku/kikaku40014.html</a>	東日本大震災の津波 浸水範囲	
水災	主要河川を調べる	国土交通省	川の防災情報	<a href="http://www.river.go.jp/kawabou/ipKozuiMap.do?areaCd=82&amp;gameId=01-0401&amp;fldCtlParty=no">http://www.river.go.jp/kawabou/ipKozuiMap.do?areaCd=82&amp;gameId=01-0401&amp;fldCtlParty=no</a>	スマホ版は位置情報 活用
	想定浸水深を調べる	同上	同上	同上	同上
		同上	重ねるハザードマップ	<a href="https://disaportal.gsi.go.jp/maps/?ll=38.479395,135.703125&amp;z=3&amp;base=pale&amp;vs=c1j0I0u0">https://disaportal.gsi.go.jp/maps/?ll=38.479395,135.703125&amp;z=3&amp;base=pale&amp;vs=c1j0I0u0</a>	住所情報の活用
		同上	わがまちハザードマップ	<a href="https://disaportal.gsi.go.jp/hazardmap/">https://disaportal.gsi.go.jp/hazardmap/</a>	
火山	火山の危険エリア等を 調べる	国土交通省	わがまちハザードマップ	<a href="https://disaportal.gsi.go.jp/hazardmap/">https://disaportal.gsi.go.jp/hazardmap/</a>	
土砂災害	土砂災害の危険エリア を調べる	同上	重ねるハザードマップ	<a href="https://disaportal.gsi.go.jp/maps/?ll=38.479395,135.703125&amp;z=3&amp;base=pale&amp;vs=c1j0I0u0">https://disaportal.gsi.go.jp/maps/?ll=38.479395,135.703125&amp;z=3&amp;base=pale&amp;vs=c1j0I0u0</a>	住所情報の活用
		同上	わがまちハザードマップ	<a href="https://disaportal.gsi.go.jp/hazardmap/">https://disaportal.gsi.go.jp/hazardmap/</a>	

# オフィスの固定対策要領

## オフィス家具等の転倒防止対策の例



※ 東京消防庁「家具類の転倒・落下・移動防止対策ハンドブック—室内の地震対策—平成24年7月」より

# 水災における事前対策

平常時の対策																															
施設管理	<input type="checkbox"/> 建物の修繕計画を策定し、適用している。 ・ 建物全体としての健全状態を維持するためには、部材の適切な修繕・更新周期に基づいて計画的に工事を行うことが重要である。スレートや波状鉄板の更新周期は概ね30年が目安とされている。 ・ 劣化が顕著になる前の予防保全、修繕費用の把握、工事時期の調整などが可能になる。 ・ 部材の劣化状況によっては、計画より前倒しでの対応が必要となることも想定されるため、予定の前年などに専門業者による点検を行った上で、工事実施時期を判断することが望ましい。	<input type="checkbox"/> 建物の定期点検項目を明確にし、劣化や損傷、不具合の箇所を修繕・解消している。 <input type="checkbox"/> 外装材のひび割れや穴 <input type="checkbox"/> 外装材や壁外設置物の留め金具の錆や緩み <input type="checkbox"/> 窓やシャッターのがたつき <input type="checkbox"/> 雨漏り箇所 <input type="checkbox"/> 壁と防水の劣化 <input type="checkbox"/> 排水系統の詰まり <input type="checkbox"/> 非常用発電機、排水ポンプの燃料補給・試運転 <input type="checkbox"/> リスクが大きいと考えられる箇所に対策を施している。 <input type="checkbox"/> 間柱・小梁による窓枠周りの補強 <input type="checkbox"/> 窓ガラスへの飛散防止フィルムの貼り付け、あるいは強化ガラス・網入りガラスの採用、あるいは雨戸の設置 <input type="checkbox"/> 中柱設置によるシャッターの二面化、あるいは重量のあるシャッターへの取換え <input type="checkbox"/> スレート、鉄板などの外装材の留め金具の増設 <input type="checkbox"/> 倒れそうな樹木の補強、あるいは除去 <input type="checkbox"/> 浸水危険の小さい場所へのデータサーバーや重要書類の保管庫の設置 <input type="checkbox"/> 重要データの複製 <input type="checkbox"/> 受変電設備の嵩上げ <input type="checkbox"/> 浸水センサー、漏れ計の設置	・ 被害を最小限に食い止めるためには、ハード面の対策が重要である。 ・ ハードの対策には時間・コストを要するものが多いため、平常時から計画的に取り組んでおくことが望まれる。																												
	施設・収容品防護用 <input type="checkbox"/> 土のう <input type="checkbox"/> 止水板 <input type="checkbox"/> 防水シート <input type="checkbox"/> バケツ <input type="checkbox"/> パレット（保管品の嵩上げ用） <input type="checkbox"/> はしご <input type="checkbox"/> 針金 <input type="checkbox"/> ロープ <input type="checkbox"/> ガムテープ <input type="checkbox"/> 排水ポンプ 人命安全確保用 <input type="checkbox"/> ヘルメット <input type="checkbox"/> 長靴 <input type="checkbox"/> 手袋 <input type="checkbox"/> 雨合羽 <input type="checkbox"/> 懐中電灯 <input type="checkbox"/> ゴムボート <input type="checkbox"/> 担架 <input type="checkbox"/> 拡声器 <input type="checkbox"/> トランシーバー <input type="checkbox"/> 従業員名簿 事業継続・帰宅困難対応 <input type="checkbox"/> 非常用発電機 <input type="checkbox"/> 非常食 <input type="checkbox"/> 飲料水 <input type="checkbox"/> 非常用トイレ <input type="checkbox"/> 毛布 <input type="checkbox"/> 簡易間仕切り（プライベート空間の確保） その他 <input type="checkbox"/> 配置図（建物や設備、保管品の設置場所が示されたもの） <input type="checkbox"/> 危険箇所図（危険箇所が図面に示されたもの）	<input type="checkbox"/> 事前防災行動計画（タイムライン）を策定している。 <input type="checkbox"/> 災害のピークから逆算した時間軸での対策 例：台風最接近時を基準に、-48時間、-24時間、-12時間、-6時間、...、+3時間の実施事項の明確化 <input type="checkbox"/> 対策実行のきっかけの設定 例：気象庁の各種注意報・警報が発表された際の実施事項の明確化  例を <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">例を</th> <th colspan="4">誰が</th> </tr> <tr> <th>A班</th> <th>B班</th> <th>C班</th> <th>...</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>...</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>対策3</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>対策2</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>対策1</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> タイムラインのイメージ <input type="checkbox"/> 緊急時の行動基準・対応マニュアルを策定している。 <input type="checkbox"/> 避難場所の設定 <input type="checkbox"/> 安否連絡・確認方法 <input type="checkbox"/> 設備の安全な停止方法 <input type="checkbox"/> 事業継続計画（BCP）を策定している。 <input type="checkbox"/> 中核事業の特定 <input type="checkbox"/> 目標復旧時間の設定 <input type="checkbox"/> 取引先との協議 <input type="checkbox"/> 代替策の用意	例を	誰が				A班	B班	C班	...	...					対策3	○	○	○		対策2	○				対策1	○			
例を	誰が																														
	A班	B班	C班	...																											
...																															
対策3	○	○	○																												
対策2	○																														
対策1	○																														
資機材・備蓄品	行動計画・マニュアル <input type="checkbox"/> 緊急時の行動基準・対応マニュアルを策定している。 <input type="checkbox"/> 避難場所の設定 <input type="checkbox"/> 安否連絡・確認方法 <input type="checkbox"/> 設備の安全な停止方法 <input type="checkbox"/> 事業継続計画（BCP）を策定している。 <input type="checkbox"/> 中核事業の特定 <input type="checkbox"/> 目標復旧時間の設定 <input type="checkbox"/> 取引先との協議 <input type="checkbox"/> 代替策の用意	訓練 <input type="checkbox"/> 実動訓練を実施している。 ・ 緊急時対応マニュアルどおりに行動ができるか実際に動いてみる（土のうの配置、排水ポンプの起動など）。 <input type="checkbox"/> 図上訓練を実施している。 ・ 仮想の台風シナリオに基づいて、災害対策本部の情報伝達や意思決定がスムーズに行われるかシミュレーションする。																													

※ MS&ADインターリスク総研発行レポート(2015年8月)より抜粋

【対策例】

<止水版の設置>



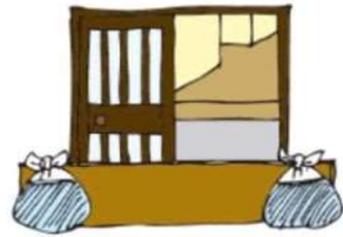
出典：国土交通省「浸水被害防止に向けた取組事例集」より引用

<土嚢の設置>



出典：国土交通省「家庭で役立つ防災」より引用

<水嚢と板による簡易止水版>



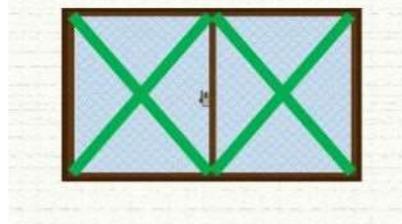
出典：国土交通省「家庭で役立つ防災」より引用

<排水路の確保>



出典：国土交通省「家庭で役立つ防災」より引用

<窓の養生>



出典：天災インフォ.comより引用

<排水ポンプの稼働>



出典：国土交通省「浸水被害防止に向けた取組事例集」より引用

# 大規模水災害に関するタイムライン（防災行動計画）の流れ



※タイムラインに関わる関係機関、防災行動は多岐にわたりますが、本イメージ図は国土交通省の対応や広域避難と交通サービスに着目して整理したものであり、時間軸の設定、対応の実施などにあたっては、今後の検討、調整が必要になります。また、赤字は特に対応強化の必要と考えられる項目です。